



社会福祉
法人

豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

第 77 号 令和 5 年(2023 年)3 月 31 日

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
ボランティアセンターだより編集委員会

〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15

TEL (6848) 1000 FAX (6848) 1005

URL: <http://www.toyonaka-shakyo-vc.org/>

E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

第30回 豊中ボランティアフェスティバル



ボランティア
団体連絡会
30周年記念ロゴ

昨年、豊中市社協ボランティアセンター設立 35 周年、豊中市社協ボランティア団体連絡会 30 周年を迎えました。30 周年イベントとして、令和 4 年 11 月 23 日(祝・水)に服部緑地野外音楽堂にて、豊中ボランティアフェスティバルを開催しました。雨の中でしたが多くのボランティアや一般参加の来場があり、イベントを順調に進めることができました。オープニングの梅花女子大学のチアリーディングから始まり、開会式での挨拶・表彰の後、豊中市民管弦楽団の演奏、白井貴子さんの歌とトーク、豊中市消防音楽隊の演奏など皆さんに楽しんでいただきました。その他にも、ボランティアグループ紹介や手話歌、フレイル予防体操など楽しいフェスティバルとなりました。ご出演・ご参加・ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。(豊中市社協ボランティア団体連絡会 会長 細谷正純)



白井貴子さん



糸をかし ちんどん屋



梅花女子大学チアリーディング部



豊中市民管弦楽団



豊中市消防音楽隊



くんくん元気塾



感謝状贈呈式



歌体操さわやか



ボランティアグループ紹介



福祉体験学習の取り組み



第十七 中学校

第十七中学校では、1年生を対象に福祉体験学習を行いました。ボランティアグループの方々には手話体験、点字体験、車いす体験、アイマスク体験、インスタントシニア体験にそれぞれご協力いただき、生徒たちは意欲的に取り組んでいました。事前に実施した視覚障害の当事者の講演と併せて、福祉やボランティア活動について学びを深めていました。

点字体験（協力：点字サークル「つくしんぼ」）

社協の呼びかけにより、千里中央のコラボで何十年も点訳ボランティアを続けておられる「つくしんぼ」のみなさんと、十七中学校を訪れました。

点字は、ローマ字表記のように母音と子音の組み合わせを、縦3点横2点からなる六つの点で構成された触読文字です。1年生の熱気にあふれる真剣さに圧倒されながら、各自の名前を粘着シールに点字で書くことを体験しました。「正しい点字より楽しい点字」、これが私たちのモットーなのです！



車いす体験（協力：ボランティアグループ「豊中アッシー」）

車いす体験学習では、66名の生徒を2回に分けて、車いす体験を行いました。車いすの取り扱い方や走行時の注意などの基本を説明し、次に校庭周辺で身体障害者役と介助者役を交代しながら走行を体験。短い時間でしたが、障害者への理解が一步進んだのでは…と思います。



手話体験（協力：手話サークル「ゆうなぎ」）

生徒たちが表をみて指文字を表すことが既に行っていたので驚きました。一人ずつ自分の名前を手話で表すこともバッチリでした。とてもうれしかったです。これからも聴覚障害者とのコミュニケーション方法に興味を持ってほしいと思います。



インスタントシニア体験（協力：ボランティアグループ「ステッキ」）

久しぶりに、元気な子どもたちの顔を前にインスタントシニア体験講座の実習を行いました。まだ、コロナ終息とは言えない中、多少の不安を感じながらの授業でしたが、顔を合わせ、目と目を見つめての授業は心が高まりました。オンラインでの授業とは違った熱意を直接感じることができました。

質問もたくさんいただき「やさしい心」を学び取ってもらえたかなと思っています。



アイマスク体験（協力：ボランティアグループ「みちるべ」）

校舎内でのアイマスク体験を実施しました。特に階段の昇降の危険を十分感じ、当事者の気持ちになって対応できるように指導を行いました。



★生徒の感想より★点字は「覚えるよりも楽しむ」ということを意識して、目の見えない人たちと通じ合えたらいいなと思いました。（点字体験）ボランティア活動は自分ひとりではなかなかできるようなことではないので、人と人がコミュニケーションをとることが大切だなと思いました。（インスタントシニア）白杖体験はこわかったけれど、支えることによって安心してもらえることを知りました。（アイマスク・白杖体験）指文字で自分の名前を相手に伝えることができてうれしかったです。（手話体験）車いすを押すとき、道が狭いと当てないように進まないといけないうし、少しの段差も進めない時があって、車いすを押すのは大変なんだと思いました。（車いす体験）今回教えてもらったことを生かして、手助けできたらうれしいです。（全体を通して）

第十五

中学校



第十五中学校では、2年生を対象に社会保障をテーマにした授業を行いました。前半は「15歳からの社会保障 セーフティネットを学ぼう」と題してオンライン講演を行い、後半は豊中市社協オリジナルの「福祉すごろく」を使って、中学校入学から35歳までの人生を疑似体験しながらセーフティネットについて考えてもらいました。生徒からは「地域で助け合うことで新しい人間関係ができることがわかった」「将来困ったときに頼れるところがあると知って安心した」「辛いときこそ一人で悩まずに勇気を出して相談することが大切だと思う」といった感想があり、福祉教育の重要性を再認識する機会となりました。

スタート
中学校に入学

初めてのテスト、小学校のときよりも科目が多すぎて大変だ！

ボランティア学習で思いや理解、誰かの役に立てたらうれしな。

夏休み、部活の大会で優勝！

学習支援教室で大学生に勉強を教えてもらう。

STOP!
中学校最後の進路はどうする？サイコロの出た数に1マス進もう

1. 高校進学
2. よりあえず卒業
3. 地元企業に就職

ゴール!
正社員になりました。人生は本当に充実しています！

1 私立高校に合格！ただし入学費や学費が足りない！
HELP! A

2 ずっと家について誰も会わない日が続いているなあ..
HELP! B

3 進路のことを考えながら探検隊、テストで目標の点数がとれず！

楽しく学ぼう！

福祉すごろく

ゴール!
正社員になりました。人生は本当に充実しています！

1 35年ローンで住宅を購入する。
HELP! G

2 生活費が足りず、多額の借金をしました。
HELP! I

3 仕事をするため、子どもをどこに預けたい。
HELP! J

1 結婚する
2. 独り暮らし
3. 結婚はしない

2 なれない子育てでストレスがたまる..
HELP! H

3 なかなか仕事がみつからない..
HELP! K

1 大学の奨学金がなくなった..
HELP! D

2 ネットで探した転職がバズり、トレンドに入った！

3 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！

1 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! E

2 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! F

3 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! C

1 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! A

2 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! B

3 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! D

1 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! E

2 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! F

3 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! G

1 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! H

2 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! I

3 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! J

1 専業主婦で収入が足りず、パートを始めるぞ！
HELP! K

ルール

- ◆このゲームは、早くゴールすることが目的ではありません。マス目に書いてあることをよく読んで、矢印の方向に進みましょう。
- ◆STOP!と書いてあるところでは、全員必ず止まります。大切なライフイベントです。サイコロを振って出た数に従って進むマス目を決めます。
- ◆HELP!と書いてあるところでは、マス目のイベントの内容に適したHELPカードを選びましょう。
- ◆どのカードを選べばいいかわからない場合は、社協カードを選ぶことで先生からヒントが与えられます。

HELP!
カード
(例)

徳中市社会福祉協議会
福祉サービスセンター
福祉サービスセンター
福祉サービスセンター

ハローワーク
職業紹介、求職支援
職業紹介、求職支援
職業紹介、求職支援

若者サポートステーション
若者支援センター
若者支援センター
若者支援センター

障害年金
障害年金の申請
障害年金の申請
障害年金の申請

大阪府育英会
奨学金の貸付
奨学金の貸付
奨学金の貸付

大阪府市町村ボランティア団体連絡会

北摂ブロック交流会

令和4年度北摂ブロック交流会が、令和4年11月7日に吹田市のメイシアターレセプションホールで開催されました。まず、「Z世代との協働で活動の輪をひろげよう！」をテーマに講演がありました。Z世代とは2000年前後に生まれた世代で、生まれながらにしてデジタルネイティブである世代。特に大学生では3人に1人がボランティア活動に参加した経験があり、ボランティアを有意義に感じているようです。Z世代と協働することでお互いに元気になれるが、この世代と接点がないのが実情であります。続いてグループディスカッションがあり、テーマを決めて討論・発表を行いました。そして、最後に関西大学落語研究会の学生の講座で落語を一席拝聴し交流会が終わりました。

(みちしるべ M.H)



年賀状ボランティア

ありがとう
ごぞいます

昨年 11 月から 12 月にかけて、豊中市内のひとり暮らし老人の会の会員の方々に送る年賀状を作成しました。参加していただいたみなさんにご協力いただき、温かいメッセージを添えた手作りの年賀状を送ることができました。宛名書きをされる方や、裏面を仕上げてくださいなど、みんなで協力しながら素敵な年賀状が仕上がりました。年賀状を受け取った方からも毎年喜びの声をいただいています。



災害支援訓練



1月14日(土)すこやかプラザで阪神淡路大震災から28年を迎えるにあたり災害支援訓練と社会福祉協議会の災害初動期の訓練を行いました。職員及び豊中市社協災害支援ネットワーク参画の団体からボランティア35名が参加。午前8時に災害ボランティアセンターを立ち上げ、市内の災害ニーズにマッチングしていきました。併せて職員は当事者団体の安否確認、防災グッズの確認、募金箱の設置、利用者の安否確認や校区福祉委員会からはiPadを使って地域の被害状況が報告されました。コロナ禍でボランティアの皆さんの参加での訓練は3年ぶりでした。11時に各セッションからの報告があり、緊張感をもった訓練を終えました。



災害対策本部設置宣言



ボランティアマッチング



各班活動開始

発電機動作確認

避難所へ送迎



報告会で全体共有



各班より活動報告



簡易ベッド組立

テントの組立

3.11桜色ライトアップ



東日本大震災から12年。豊中市文化芸術センターを桜色にライトアップしました。豊中市社協は東日本大震災直後から東北支援を継続し交流を続けてきました。岩手県大槌高校と桜塚高校の校章が桜だったことから桜協定を結んでいます。ライトアップ当日は、オンラインで大槌高校生が被災地の現状を話し、桜塚高校からは被災地を訪問した思い出を話しました。今後も被災地を忘れないという思いで黙祷の後、桜協定にちなみ桜色のライトアップをみんなでカウントダウンして心に刻みました。



編集後記



「やってみたら、いろいろみえた」3年間。失敗を恐れず新しいことに取り組む、うまくいかなければ立ち止まって考える経験を積むことができた“トライ&エラー”の3年間だったように思います。時の流れで歳が増えちゃった・・・かもしれないけれど(汗)、これからマスクをはずして笑顔でトライ!さあ、何がみえてくるのかな。
(アクセス N)

